

## キーナに來いな！「キーナの森」の活動日誌 — 生物多様性のシンボル拠点を目指す公園の取り組み —

山本佳奈（環境学園専門学校）・堀田佳那・明貝直晃・野口結子（神戸大・農）・  
神戸市建設局公園部緑地課

### ■ はじめに — 里山を積極的に使おう —

かつては人の手により利用・管理されてきた里山は、現在はほとんど利用されることがなくなり、その姿を変えつつあります。里山は生き物が減少したり、樹木の病気が蔓延したりと様々な問題に直面しています。このような問題に対して行政や大学、多くのボランティア団体が解決にあたりと様々な活動を展開しています。私たちはキーナの森において里山を積極的に利用することで、里山で起きている問題の解決にあたっています。

### ■ 活動場所 — 「キーナの森」ってどんなところ？ —

神戸市北区にある「生物多様性保全のシンボル拠点」として整備が進められている公園です（平成 29 年度開園予定、図 1）。キョスミウツボやモリアオガエル、カスミサンショウウオといった希少な生物が生育、生息しています。かつては実際に里山林として利用されていましたが、燃料として薪が使用されなくなった 1960 年代ごろから放棄されています。放置された里山を利用再開することで、希少な生物の保護を含めた豊かな生物多様性の保全・育成を行うとともに、多様な人々の協働による環境学習や市民活動の拠点として活用することを目指しています。

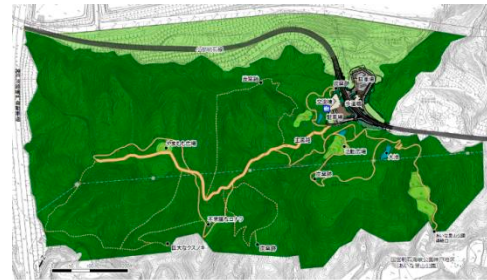


図 1. キーナの森 整備計画図

（神戸市 HP：<http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/park/intoro/shiawasenomori.html>）

### ■ 活動内容 — わたしたちの足あと（2014 年度から 2016 年度のあゆみ） —

#### 【里山の資源を活かす】

#### ・道づくり（写真 1）

キーナの森は、里山として利用されなくなってから年数が経っているため、昔の道が消えています。今後の活動のために必要な道や、開園後の園路を確保するため伐採作業を進めています。

#### ・薪小屋づくり（写真 2）

里山の代表的な資源である薪を保管するため薪小屋を作りました。小屋の材料はキーナの森の中で集めました。

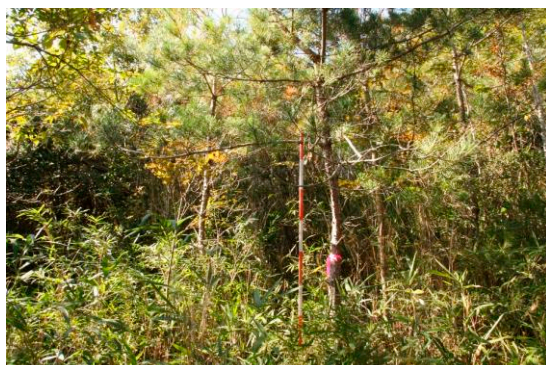


写真 1. 道づくり。左：作業前、右：作業後。ササがなくなり昔の小道が復元。

・粗朶づくり (写真3)

里山に繁茂するヒサカキを伐採し、兵庫運河に沈める粗朶 (イカや魚の産卵床) を作りました。鳥の食べ物を奪わないよう、ここではヒサカキの雄木を伐りました。森と川をつなぐ活動です。

・草木染め in 神戸大学 (写真4)

キーナの森で採取したヤマモモの樹皮やコブナグサなどを使って、神戸大学の実験室で草木染めをしました。

【キーナの生き物を知る】

・里山講座 (写真5)

手作り図鑑を使った里山の植物講座と森の中での座談会。生き物の知識を深めたり、人と人をつなぐための工夫について話し合ったりしました。

・昆虫のライトトラップ調査 (写真6)

キーナの森にどのような昆虫が生息しているかを調べました。日が暮れてからの活動にワクワクしました。普段の活動では見られない生き物を見ることができました。

【森の中の交流】

・お昼ごはん

キーナの森における活動の最大の魅力の一つ (写真7)。季節に合ったお野菜や、時には鹿肉や猪肉を森の中で調理します。獣害という里山問題を、食べることで少しでも解決。これらの調理を可能にしているのは「ロケットストーブ」 (写真8)。少しの薪で大きなエネルギーを生み出してくれます。普段の活動の中で自作しました。

・ミーティング (写真9)

活動終了後、みんなで集まって今後の活動計画等を話し合います。その日に見つけた生き物を報告したり園名板の作製に取り組んだりしています。



写真2. 完成した薪小屋の前で集合写真。これから薪でいっぱいにしていきます。



写真3. 林内を暗くするヒサカキを伐採して兵庫運河に用いる粗朶づくり。どやっ。



写真4. 神戸の里山の植物を使って草木染め体験。左: 模様付け作業。右: 完成品。初めてにしては上出来?

■ まとめ：これからの展望

わたしたちはキーナの森でたくさんの方のことを学びながら活動を繋いでいます。最初は手探りで、どう動けばいいかわからなかった参加メンバーですが、最近の活動ではみんなで意見を出し合いながら少しずつですが自発的な活動に発展しつつあります。里山の管理や生物を守るため、という大きなテーマが掲げられていますが、参加者はいつも楽しく時間を過ごし、義務ではなく楽しむためにこの場所を訪れ続けています。これから活動がどんどんと大きくなることを期待します。

私たちの活動は、学生がたくさん参加しているのが特徴です。今後も継続的にたくさんの方に参加してもらうために、キーナの森の魅力を発信していきたいと思います。他にもたくさんの活動を実施しています。ここで紹介しきれなかった活動はFacebookでも報告をしていますので、ぜひご覧ください！Facebook ページ⇒ <https://www.facebook.com/kobe.siawasenomori>  
 (※神戸大学生の活動は学生ボランティア団体「神戸学生森林整備隊」として、神戸大学地域連携推進室「学生地域アクションプラン」の助成を受け行っています。)



写真 5. 手作り図鑑。お手製ならではの使い勝手。自分だけのオリジナル図鑑が作れます。



写真 6. 昆虫のライトトラップ。どんな虫がいるのかな？



写真 7. 左:ロケットストーブを使って森の中で調理, 右:四季折々の食べ物も堪能。実はおいしいご飯目当てで活動に来ているのかも？胃袋つかまれています。



写真 8. 森の中で調理を実現してくれるロケットストーブ。簡単に自作できます。



写真 9. ミーティング。真剣な顔で話し合い中。